

# 常任委員会の動き

## 全庁的なポイント制度

### 統一的な制度の構築を目指す

#### 総務

全庁的なポイント制度の構築を目指す。ラットフォームの準備を着実に進め、事業を開始することを想定している。

○教育に関する大綱の策定について

#### （市の説明）

総務常任委員会は、十二月九日に開催され、議案六件、陳情四件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は全て趣旨不承と決定した。

また、①教育に関する大綱の策定②地方版総合戦略の策定③全庁的なポイント制度の構築に関する検討状況④東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組⑤「藤沢市人権施策推進指針」の改定（中間報告）⑥「ふじさわ男女共同参画プラン2020」の改定（中間報告）⑦長後市民センター関連用地の整備等⑧（仮称）藤沢市公文書等管理に関する条例の制定に向けた取組（中間報告）——以上八件について報告を受けた。

本市では、これまでに複数数のポイント付与事業が実施されてきたが、個々の事業において参加者がふえななどの課題が生じている。一方で、ボランティア活動を促すボランティアポイントなどのさまざまな分野でのポイント付与によるインセンティブの導入が求められていることから、市民にわかりやすい統一のかつ横断的なポイント制度の構築に向けて課題整理を行い、来年度の導入を目的に制度設計を進めている。

導入案の方向性としては、さまざまなポイントカード事業者等とのヒアリングの結果を踏まえ、W.A.O.N（ワンオン）カード及びnanaco（ナナコ）カードなどといった電子マネーカードを発行する事業者と連携し、藤沢らしいデザインを取り入れた藤沢版ご当地カードを発行し、シティブロモーション効果や寄附制度の機能などを持たせつつ、多様なポイント交換が可能な独自ポイント制度に発展させる案を基本に制度の詳細設計を行う。

また、制度設計に当たり、市民に対する事業参加インセンティブとしての有効性を高められるよう、幅広い分野でポイント制度対象事業を行うなどの事業規模の拡大と統一性、さらには市民視点でのわかりやすさと利便性などの視点を持つて詳細設計を進める。

今後の取り組みについては、平成二十八年六月議会にポイント制度に関する補正予算案を上げ、カード発行やポイント付与に必要な機器等の配置を行うなど、政が同じ理念のもとに活動

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

○中学校給食試行結果について

（教育委員会の説明）

建設経済常任委員会は、十二月四日に開催され、議案二件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①藤沢市耐震改修促進計画（素案）②藤沢市市民農園の見直し——以上二件について報告を受けた。

○藤沢市市民農園の見直しについて

建設経済常任委員会は、十二月四日に開催され、議案二件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①藤沢市耐震改修促進計画（素案）②藤沢市市民農園の見直し——以上二件について報告を受けた。

市民農園の見直しについては、現行は二十五農園で開設を始めているが、現行制度の運用開始から今年度で三年が経過し、平成二十五年に制定した移転した十二農園のうち、契約を解除した四農園を除く八農園が、初めての更新を迎える。そのため、利用率の改善などの課題解決、日常の運営状況及び利用者アンケートの結果を踏まえ、二十八年から制度の見直しを図る。

区画の規模については、アンケートでは利用者の半数が「適当」、また、四割が「狭い」との結果であるが、一定の区画数を確保し、利用機会を担保するため、これまでどおり個人利用は二十平方メートル貸し出すこととし、面積の大きいグループ区画の設定や、空き区画がある場合に二区画目が利用可能な制度としていく。

貸付料については、アンケートでは利用者の六割が「高い」との結果であるが、管理運営については、草刈り強化への要望が多いことを受け、空き区画や通路などの未利用地に防草シートを張ることにより、雑草者の利用開始を予定する。

また、今年度から実施した土地の賃借料や維持管理費をもとに一区画当たりの貸付料を算出しており、現時点でもこの前提に変化がないため、引き続き受益者負担の原則を堅持し、現在の一万四千円を継続していく。

その他として、利用率の低い農園については、近隣に同様の農園が存在することなどにより、当面は利用率の改善が見込めないと予測されるため、新規募集の促進を図っていく。

なお、二十七年十二月議案での審査を踏まえ、二十八年一月に更新に向けた新規募集案内を広報ふじさわに掲載し、二月に募集、三月に抽選と結果通知をするほか、既存区画の耕うんを実施し、四月から新規利用開始を予定する。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

○中学校給食試行結果について

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

中学校給食の全校実施に向けた課題検証のため、平成二十七年十月以降、新たに三校で試行を開始し、その途中経過について報告する。

まず、配送等に係る時間の検証については、学校給食衛生管理基準に「調理後二時間以内給食」との規定があることから、調理工場から学校までの配送時間と学校内での作業時間合計が二時間以内となっているかを明治中学校で検証した。

検証結果では、海老名市にある調理工場から明治中学校までの平均配送時間は三十五分程度で、また、学校内での配膳作業時間は平均一時間二分であり、全体に要する時間は平均約一時間三十七分となっている。

この検証結果から、調理工場からの距離が明治中学校と同程度以内の学校については、基準に基づいた給食の提供が可能であることが確認できた。

次に、大規模校での実施方法について検証を行った。デリバリー方式の給食では、学級ごとに配送コンテナを仕分けする作業を行うため、作業時間は、注文のあった学級数により増減することから、学級数が市内最大である六会中学校で検証を行った。ここでは、配膳員を二人から三人に増員して対応したことにより、作業時間を短縮でき、大規模校においても対応が可能であることが確認できた。

最後に、配膳作業場所の確保方法を第一中学校で検証した。施設の構造上、配膳室の整備が困難である学校においても、搬入場所と配膳場所を分けることで作業スペースの確保が可能であることが確認できた。

以上の検証結果から、現在の調理工場から最も距離

が遠い三校の生徒及び保護者を対象にアンケート調査を実施し、その後、二月に実施計画を報告する。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

○中学校給食試行結果について

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。



さまざまなポイントカードの統一化により、利便性の向上を目指す

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

○中学校給食試行結果について

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。

子ども文教常任委員会は、十二月八日に開催され、議案三件、陳情一件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①平成二十七年全国学力・学習状況調査の結果②学校生活についてのアンケート調査の結果③中学校給食試行結果——以上三件について報告を受けた。



配膳員を増員して作業時間を短縮する=六会中学校